

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	9	学校名	大和中央高等学校
----	---	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	通信制課程の魅力発信及び地域貢献プロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	<p>学校設定科目「生活文化の伝承B」、「奈良TIME」において、実習形式で授業を実施。「順慶まつり」を通して歴史的生活文化と地域創生について学ぶ。</p> <p>学校設定科目「生活文化の伝承A」において、実習形式で授業を実施。「紐」の製作を通して、その歴史と活用方法を学ぶ。</p> <p>生徒会行事として、全校生徒に参画を呼びかけて、実学を通して地域との協働を学ぶ。</p>
連携・協働相手	順慶顕彰会、順慶まつり実行委員会
地域と共有している目標・課題等	地域創生・地域課題解決の視点育成、通信制課程の魅力発信、「順慶まつり」の来場者増加と活性化、学校と近隣住民との連携機会の創出
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>学校設定科目「生活文化の伝承B」「奈良TIME」では、「順慶まつり」の歴史、地域との関わりについて順慶顕彰会の方からご講演いただくとともに、段ボール甲冑等の製作の指導を受けた。生徒たちは、段ボール甲冑や陣笠を実際に作製するとともに、作製した陣笠を身につけ、「順慶まつり」のスタンプラリーに参加した。学校設定科目「生活文化の伝承A」では、私たちの生活に欠かせない「紐」の構成やしぐみ、歴史について学習した後、甲冑などの武具に使う「紐」の一部を生徒が作り、その時代における「紐」の活用方法を学んだ。また、「紐」の結び方について水引などを使用し学習した。これらの取組の成果を生徒交流会で展示発表し、順慶顕彰会、順慶まつり実行委員会の方に鑑賞していただいた。</p> <p>生徒会として、順慶まつり実行委員会と連携して、「順慶まつり」でゴミステーションとスタンプラリーの運営を行い、交流を図った。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>順慶顕彰会、順慶まつり実行委員会の方と連携し、「順慶まつり」に関する学習、段ボール甲冑等の製作、スタンプラリーへの参加等の取組ができ、地域の歴史・文化を学ぶことができただけでなく、地域に対する生徒の興味・関心を高めることができた。また、生徒会として、順慶まつりでスタンプラリーやゴミステーションの運営をお手伝いすることで、地域の方との交流を図ることができた。さらに、甲冑などの武具に使う「紐」の一部を生徒が作り、生徒交流会で展示し、他の生徒たちに披露することで、「順慶まつり」に対する興味、関心を高めることができた。</p>

